

目 次

I 経営技術

- 1 集落営農法人における理念主導型経営の確立 1
- 2 複合獣種対応型被害防護柵の開発 3

II 食品加工技術

- 3 魚の形を残しつつ骨まで食べられる加工技術の開発 5
- 4 酵素を利用したクリの渋皮剥皮と保存技術 8

III 農業技術

<土地利用作物>

- 5 近年の品質低下に対応した水稻生産技術の改善 10
 - ①「ヒノヒカリ」では、耕土深の確保と増肥により品質・収量が安定
 - ②高温年における「ひとめぼれ」「ヒノヒカリ」の基肥一発肥料栽培では窒素追肥が品質安定に有効

<園芸作物>

- 6 イチゴ‘かおり野’の育苗を省略する子苗定植技術 14

<資源循環>

- 7 ブドウのクビアカスカシバ防除対策の確立 17
- 8 貯蔵・流通時の「はなっこりー」の腐敗原因と対策 19
- 9 ナメクジ類の防除は施設アスパラガスでは梅雨期（6月～7月）、施設イチゴでは秋（10月）の防除が有効 21

<柑きつ>

- 10 晩生カンキツ「せとみ」に発生する緑斑症の軽減対策 23

<花き>

- 11 オリジナルリンドウ早生シリーズの育成 25
- 12 カーネーション採花同時切り戻し2年切り栽培における夏期の冷房導入による高品質・多収栽培技術の確立 27
- 13 洋ランの植え込み資材改善および緩効性肥料による施肥体系の確立 . 29

IV 畜産技術

- 14 無角和種の放牧を取り入れた高付加価値牛肉の生産技術 32